SBMニュース

平成28年2月17日 (一社)滋賀ビルメンテナンス協会

アビリンピック滋賀大会 ビルクリーニング競技開催

平成27年11月29日、近江八幡のポリテクカレッジ滋賀において、アビリンピック滋賀大会ビルクリーニング競技を開催しました。昨年に引き続きの開催なので、準備、競技会当日とかなり段取りよくできたのではないでしょうか。今回の大会で「金賞」をとった選手は、今年10月に山形で行われる全国大会に出場します。全国でも「金賞」を取ろうと、杉江理事、渡邉理事は燃えています。皆様、応援よろしくお願いいたします。





ビルクリ受検対策実技訓練

平成28年1月13日(水)、当協会員である、滋賀 双葉ビル整備㈱様に会場をお借りし、ビルクリ受 検対策実技訓練を行いました。次回から等級など が変更することもあり、昨年からたくさんの方に 受講いただきました。これが届くときには、実技 試験はほぼ終わっていると思いますが、皆様の合 格を祈念しております。





ビルメンこども 絵画コンクール作品展

平成28年1月16日(土)、大津市生涯学習センターにおいて、「ビルメンこども絵画コンクール作品展」を行いました。今年も力作ぞろいで、会長賞初め入賞された皆様の表彰式を行いました。最後の記念撮影では、記者会見さながらの感じで、親御さんが子ども達にカメラを向けておられました。今年も素敵な展示会が出来ました。





しがしごと検定



平成28年1月14日 (木)2回目とな行る 「しごと検定」が行わる がこの検定」が記した。 毎日新聞したにはが記した。 が立ち上にはが検定を上げりできる もりなれるはいかにないかられる が立ち回した。のりいた。 が立ちにはがした。 でいたのりいた。 してでのした。 してでのした。 してでのした。

平成28年新年賀酮交歓会

平成28年1月15日(金)、琵琶湖ホテルにて「平成 28年 新年賀詞交歓会」を開催いたしました。

冒頭、井元会長の挨拶では、品確法やエコチューニングについての話や、外国人労働者の受け入れの話がありました。また、昨年は特に障害者支援が進んだことや、ビルクリ全国大会に総勢20数名が応援に行った話がありました。

来賓挨拶では、全国協会副会長の梶山様も現在の人材不足に触れ、特に人材が不足している日常清掃の時間などを変更し、一人で複数現場を担当できるようにするなどの工夫も必要だとお話されていました。また、全国ビルメンテナンス政治連盟理事長の野元様が鹿児島からお祝いに駆けつけて下さいました。近畿地区本部長の佐々木様の乾杯で、始まり、なごやかな雰囲気で、日頃会えない皆様と有意義な情報交換ができました。お忙しい中、多くの皆様にご列席いただきましたこと、厚く感謝いたします。





(写真左) 全国ビルメンテナンス政治連盟 野元理事長様

マンション管理員講習会

平成28年1月26日(火)(公社)滋賀県シルバー人材センター連合会様主催のマンション管理員講習会が開催され、マンションの清掃について講習をさせて頂きました。皆様真剣に受講されていて、関心の高さが伺えました。





第1回障がい者雇用について の研修会

平成28年2月17日(水)協会会議室において、障がい者雇用についての研修会を開催しました。 この研修は、滋賀県商工観光労働部労働雇用政策 課様のご協力のもと、第1回研修会を行いました。

基調講演では、カルビー・イートーク(株)の北村社 長様をお迎えし、取り組みについてお話頂きまし た。

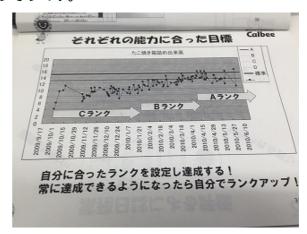


カルビー・イートーク㈱様は、名前の通りカル ビーの子会社になるのですが、障がい者雇用をは じめたきっかけは、決して、親会社の法定雇用率 のためではありません。元々は、カルビーがお土 産用のお菓子の生産をすることになり、通常の袋 のお菓子と違い、箱詰めが必要で、それをライン でするには、工程が増えてしまい、それならばと、 北村社長が障がい者作業所などに相談したことが きっかけだそうです。ちなみにカルビーの名前の 由来って知っていましたか?カルビーの社名はカ ルシウムの「カル」と、ビタミンB1 の「ビー」を 組み合わせた造語です。カルシウムはミネラルの 中でも代表的な栄養素、ビタミンB1 はビタミンB 群のなかでも中心的な栄養素です。1955年、皆様 の健康に役立つ商品作りを目指して名付けたそう です。カルビー・イートーク㈱様は現在、従業員 26名で、知的障がい者15名、身体障がい者2名、 健常者9名が勤務されているそうです。

作業内容は商品の箱詰めなのですが、そこには妥協がなく、目標があり、そして目標管理の仕組みがあります。また、作業手順書があり、手順通りにしなければなりません。その理由としてもと、の理由としまうと、自回収をしなければならない事態が発生するかられたです。また、箱に詰められた商品をダンです。また、箱に詰められた日付費がシールをチェックするそうです。これも、消費がしているようです。と、仕事の意味を説明されているそうです。と、仕事の意味を説明されているそうですがあり、それだけの表していると、仕事の意味を説明されているそうです。

何ヶ月に1回かは、印字されていないものをわざと流すそうです。この場合、健常者よりも障がい者のほうが、きちんと選別するそうです。実をいいますと、ダンボール詰めのラインには、途中に機械で印字しているか読み取るものがあるそうです。それを知っているから、健常者は大丈夫だろうと見逃してしまうそうです。

そのほか、目標は数値管理できちっとされていたり、業務日誌はその日のうちに返事を書き、家に持って帰って、支援者や家族の方にも見てもらうそうです。



質疑応答で面接・採用の質問がありました。 採用の基準は、「本当にここで働きたいのか」という ことを見極めるとおっしゃっていました。そうでな い子はやはり続かないそうです。

最後に、今回協力してくださった滋賀県商工観光 労働部の浅田様からご挨拶があり終了となりました。



大変有意義な研修となりました。第2回も開催予定ですので、たくさんの皆様の参加をお待ちしております。

編集 平成27年度のSBMニュースは今回で最終となります。協会では、昨年度から少しずつ新たなります。協会では、昨年度から少しずつ新たなります。協会とはじめ、今年度はその活動がようやく動き出したように思います。特に障がい者就労支援は、私たちにはもっとも大切な活動になっていくと感じております。28年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 広報担当理事 渡邉 真規